

2 資産に含まれる文化財

(1) 整理表

番号	名 称	所 在 地	保護主体	保護の種別	面積 (㎡)
1	きたこがね 北黄金貝塚	北海道 伊達市	国	史 跡 (1987年指定) (1996年追加指定)	87,593.88
	【要 約】 噴火湾に面した舌状丘陵上に立地する、縄文時代前期の大規模な貝塚を中心とする集落遺跡である。遺跡全体の保存状態が良好で、4か所の貝塚、湧水地、竪穴住居、土坑墓等が確認され、大量の土器、石器、骨角器のほか、保存状態の良好な埋葬人骨や動物遺体も各種出土している。出土人骨の人類学的研究や貝塚の分析から、縄文人の自然環境への適応を知る上で重要である。遺跡は、海に面した景観を体感できる史跡公園として整備・公開されている。				
2	いりえ たかさご 入江・高砂貝塚	北海道 洞爺湖町	国	史 跡 (1988年指定) (2002年追加指定)	54,528.19
	【要 約】 両貝塚は噴火湾に面した海岸段丘上に立地する。入江貝塚は縄文時代前期～後期の大規模な貝塚を伴う集落遺跡で、厚さ3mに及ぶ貝層からは多数の人骨や遺物が出土している。高砂貝塚は縄文時代後期の貝塚のほか、縄文時代晩期の土坑墓群も確認され、多数の人骨と副葬品が出土している。両貝塚は、縄文時代前期～晩期における周辺の自然環境、生活や生業、さらに人類学的形質や葬法などを知る上で重要である。				
3	わしのき 鷲ノ木遺跡	北海道 森町	国	史 跡 (2006年指定)	2,720.50
	【要 約】 現海岸線から1km内陸に入った舌状丘陵上に立地する、保存状態の極めて良好な縄文時代後期前半の環状列石と竪穴墓域である。環状列石は中央の4×2.5mの配石と二重の列石で構成され、外周は37×34mのほぼ円形で、道内最大規模である。竪穴墓域は環状列石に隣接し、11.5×9mのほぼ円形で、大小11基の土坑墓がある。北日本における環状列石や墓制、祭祀などの精神世界とともに北海道と北東北の交流を考える上で重要である。				
4	おおふね 大船遺跡	北海道 函館市	国	史 跡 (2001年指定)	71,832.03
	【要 約】 太平洋に面した海岸段丘上に立地する、縄文時代中期の大規模な集落遺跡である。100棟以上の竪穴住居跡のほか、盛土遺構、土坑群等が確認され、深さが2mを越える大型の竪穴住居が特徴的である。大量の土器、石器のほか、クジラ、オットセイ、クリ、ヒエなどの動植物遺体も各種出土しており、当時の生活や生業を具体的に知る上で重要である。				
5	さんないまやま 三内丸山遺跡	青森県 青森市	国	史跡 (1997年指定) 特別史跡 (2000年指定)	243,340.11
	【要 約】 陸奥湾に面した丘陵上に立地する、縄文時代前期中頃から中期にかけての大規模集落遺跡である。長期間にわたり定住生活が営まれ、竪穴住居、大型竪穴住居、掘立柱建物、大型掘立柱建物、列状に並んだ墓、幼児用甕棺墓、盛土遺構、粘土採掘穴、貯蔵穴、道路などが計画的に配置されている。また、谷などの低地には有機質遺物を多量に含む、遺物包含層が形成されている。縄文文化の様相を総合的に解明する上で、不可欠な極めて高い学術的価値を持ち、人々の縄文時代観にも大きな影響を与えた、我が国を代表する縄文遺跡である。				

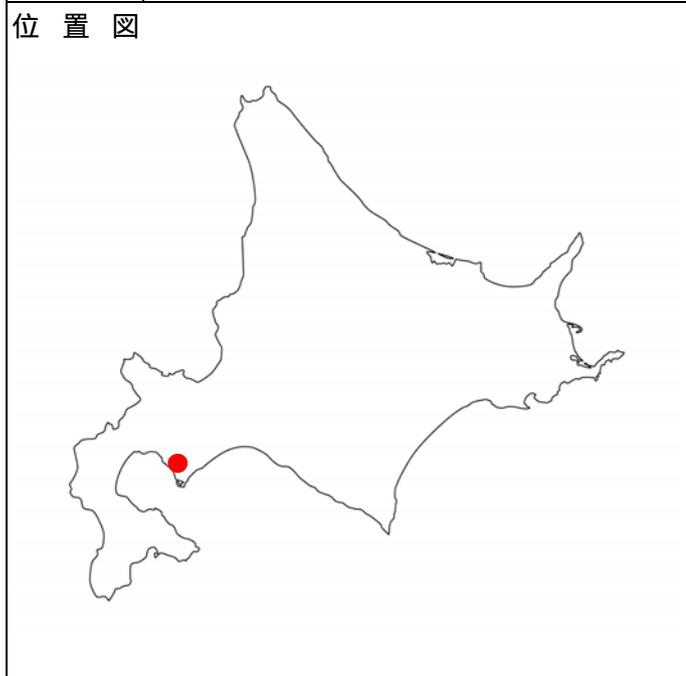
番号	名 称	所 在 地	保護主体	保護の種別	面積 (㎡)
6	こまきの 小牧野遺跡	青森県 青森市	国	史 跡 (1995年指定)	87,632.61
	【要 約】 陸奥湾を臨む丘陵上に立地する、土地造成と特異な配石によって構築された縄文時代後期前半の大規模な環状列石を中心とする遺跡である。環状列石は、付近の川から運搬された約2,400個もの川原石によって造られ、直径35m、29m、2.5mの3重の環から構成されている。縄文時代の精神生活や社会構造、墓制等を明らかにするとともに、土地の造成や多量な大型石の運搬・設置など、大規模な土木工事の実態等を知る上で重要である。				
7	これかわ 是川石器時代遺跡	青森県 八戸市	国	史 跡 (1957年指定 2004年追加指定)	52,886.03
	【要 約】 新井田川の河岸段丘上に立地する、縄文時代晩期の亀ヶ岡文化を代表する遺跡で、中居遺跡、一王寺遺跡、堀田遺跡からなる。中居遺跡は低湿地から台地にかけて広がり、低湿地からは赤漆塗りの木製品類やトチノキ、クルミなどが良好な保存状態で出土した。一王寺遺跡からは、バケツを縦に長くしたような土器が多数出土し、これをもって円筒土器と名付けられた。堀田遺跡は、昭和11年に雑誌「ミネルヴァ」誌上で、縄文文化の終末年代を巡って大論争が行われた遺跡として知られている。縄文社会及び漆技術の系譜を考える上で重要である。				
8	ちょうしちやち 長七谷地貝塚	青森県 八戸市	国	史 跡 (1981年指定)	29,579.00
	【要 約】 五戸川右岸の低位段丘の先端部に立地する、東北地方では数少ない縄文時代早期の貝塚である。ハマグリやオオノガイ、ヤマトシジミなどのほか、スズキやクロダイ、カツオなどの魚骨、鳥類・ほ乳類の骨も多数出土している。漁具では軸と針を組み合わせた釣り針や鈎頭などの骨角器が出土し、漁労文化が発達していたことを示している。縄文時代の漁労を中心とした生業、食生活、自然環境などを知る上で重要である。				
9	かめがおか 亀ヶ岡石器時代遺跡	青森県 つがる市	国	史 跡 (1944年指定)	24,545.00
	【要 約】 岩木川左岸の丘陵並びに周辺低地部に広がる縄文時代晩期の代表的な遺跡である。江戸時代より土器が多数出土することで知られ、「亀ヶ岡文化」の名称の由来にもなった。台地上の雷電宮、低湿地の沢根及び近江沢の3地区からなり、これまでに雷電宮地区からは土坑墓群が、その下方の沢根地区からは多数の土器や漆塗り製品、ヒスイ製の玉類などが発見されている。中でも、左足を欠いた大型土偶は、眼の表現をもとに「遮光器土偶」の名称の起りを持つものとしてよく知られている。縄文社会や当時の自然環境を知る上で重要である。				
10	たごやの 田小屋野貝塚	青森県 つがる市	国	史 跡 (1944年指定)	14,876.00
	【要 約】 岩木川左岸の低丘陵部に立地する、日本海側では数少ない縄文時代前期の貝塚を伴う集落遺跡である。竪穴住居のほか、ヤマトシジミ、イシガイなどの貝類を中心に、コイ科やスズキ属の魚類、ガン・カモなどの鳥類の骨が出土している。また、クジラ・イルカなど大型ほ乳類の骨で作った骨角器等も発見されている。特に、ベンケイガイの貝輪が多数出土し、半製品もあることから、貝輪の製作が行われていたことが明らかとなった。縄文時代の環境や生業、生産活動を知る上で重要である。				

番号	名 称	所 在 地	保護主体	保護の種別	面積 (㎡)
11	ふたつもり 二ツ森貝塚	青森県 七戸町	国	史 跡 (1998年指定)	35,551.00
	【要 約】 東北地方太平洋岸、小川原湖西岸に形成された縄文時代前期から中期にかけての大規模な貝塚を伴う集落遺跡である。貝塚は、東西に2か所形成され、東地区の貝塚は特に大規模で、台地の北斜面と南斜面に分布する。平坦部には竪穴住居、貯蔵穴、墓が配置されている。また、土器や石器、骨角器、動物遺体などが数多く出土している。この時期の貝塚として東北地方有数の規模を誇り、縄文時代の環境や生業、集落構造を考える上で重要である。				
12	おおだいやまもといち 大平山元 遺跡	青森県 外ヶ浜町	(未指定)	史跡指定に向け確認調査実施中	
	【要 約】 蟹田川左岸の河岸段丘上に立地する、縄文時代草創期の遺跡である。旧石器時代の特徴を持つ石器群とともに、土器と石鏃が伴って出土している。土器に付着した炭化物の年代測定では、約16,500年前との結果を得ており、現在のところ、日本最古の土器である。日本列島における旧石器時代から縄文時代への移行期の環境や文化様相を知る上で重要である。				
13	ごしよの 御所野遺跡	岩手県 一戸町	国	史 跡 (1993年指定 2006年追加指定)	75,842.00
	【要 約】 馬淵川右岸の河岸段丘上に広がる、縄文時代中期後半の大規模集落遺跡である。中央部の配石遺構を伴う墓域を中心に集落が構成されており、その東西に4～5か所の住居域がある。墓域の南には盛土遺構、それ以外に掘立柱建物が環状にめぐり、内側に土坑群が密集している。住居域では竪穴住居が密集しており、その中には焼失した住居が多く発見され、土屋根住居が確認されている。縄文時代の集落構造や普遍的な建物構造である竪穴建物の上部構造を考える上で重要である。				
14	おおゆ 大湯環状列石	秋田県 鹿角市	国	特別史跡 1955年指定 (1990年・1994年・ 2001年追加指定)	240,833.60
	【要 約】 米代川支流の大湯川左岸の舌状台地上に立地する、縄文時代後期前半の大規模記念物である。直径45m以上の万座・野中堂の二つの環状列石を主体とする我が国を代表する遺跡で、200年以上にわたって作り続けられた縄文人の壮大な記念物である。環状列石の周囲には、掘立柱建物・土抗・貯蔵穴などが列石を取り囲むように同心円状に分布する。環状列石は、先祖を祀る墓の集合体であり、これを中心に自然に対して畏敬の念を表す儀式も行われていたと考えられ、縄文人の葬送儀礼、祈りとまつりなどを考える上で重要である。				
15	いせどうたい 伊勢堂岱遺跡	秋田県 北秋田市	国	史 跡 (2001年指定)	156,066.85
	【要 約】 米代川中流域の左岸の河岸台地上に立地する、縄文時代後期前半の大規模記念物である。直径30m以上の4つの環状列石を主体とする大規模な祭祀の場と考えられ、環状列石の石組みには、他の環状列石と同様のものもあり、北海道・北東北地域での交流の姿を示している。環状列石周辺からは、土抗墓・配石遺構・掘立柱建物・溝状遺構などが確認されている。縄文時代の祈りとまつりなどを考える上で重要である。				

(2) 構成要素ごとの位置図と写真

名称 きたこがね 北黄金貝塚(史跡)

所在地 北海道伊達市



写真



遺跡全景と噴火湾の眺望



復元住居と湧水



鯨骨製骨刀



骨製スプーン



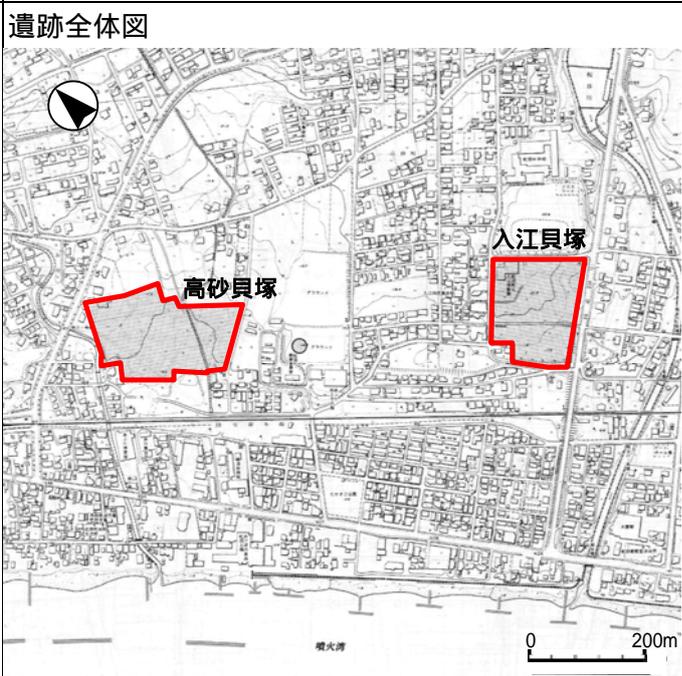
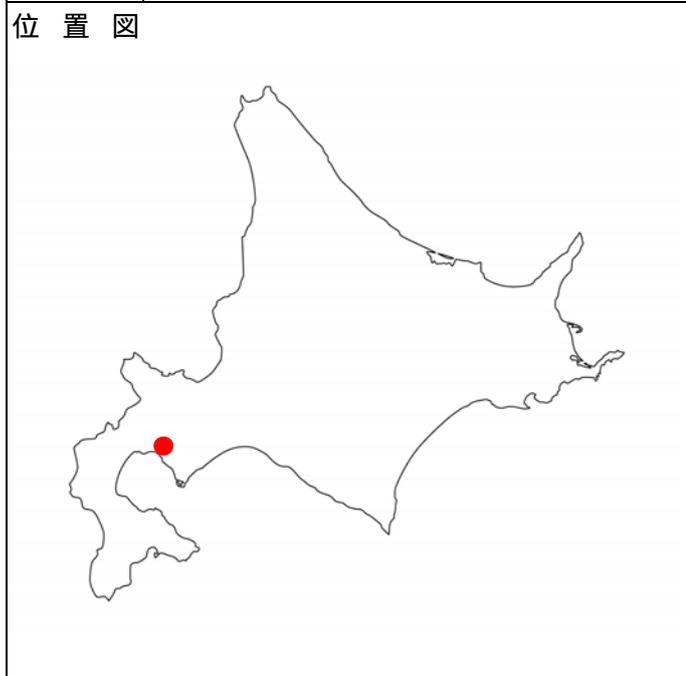
貝層断面



土坑墓

名称 いりえ たかさご
入江・高砂貝塚（史跡）

所在地 北海道虻田郡洞爺湖町



写真



入江貝塚の貝層断面



入江貝塚の竪穴住居跡（後期）



入江貝塚出土土器（後期）



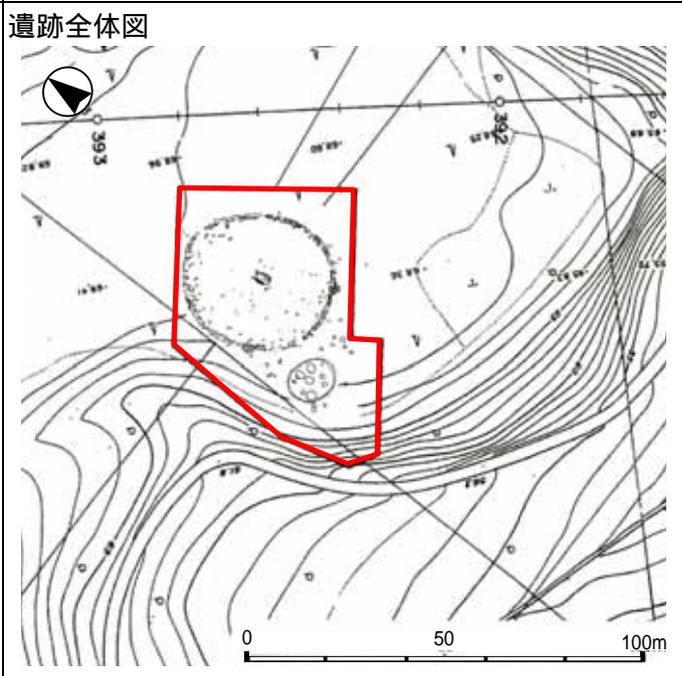
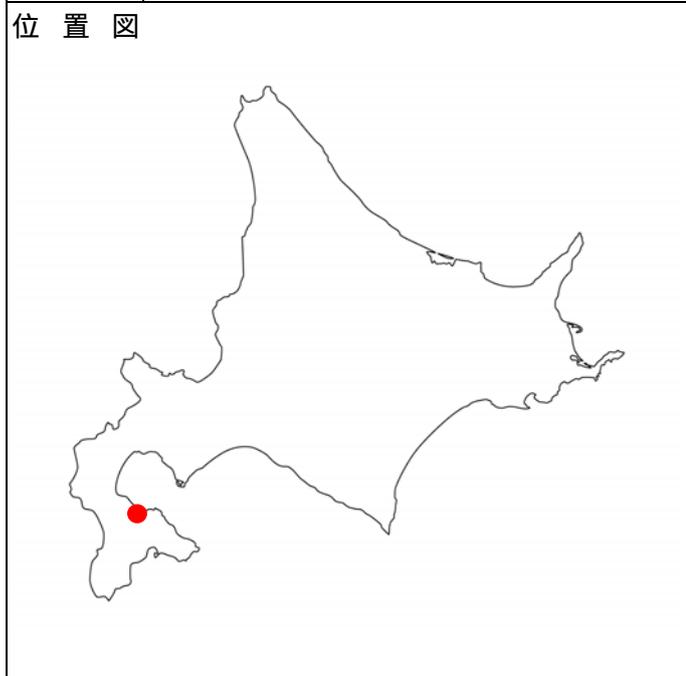
高砂貝塚土坑墓出土土器と土偶（晩期）



高砂貝塚土坑墓出土人骨（晩期）

名称 わしのき
鷲ノ木遺跡（史跡）

所在地 北海道茅部郡森町



写真



環状列石全景



中央配石



環状列石中の埋設土器



環状列石近景



竪穴墓域

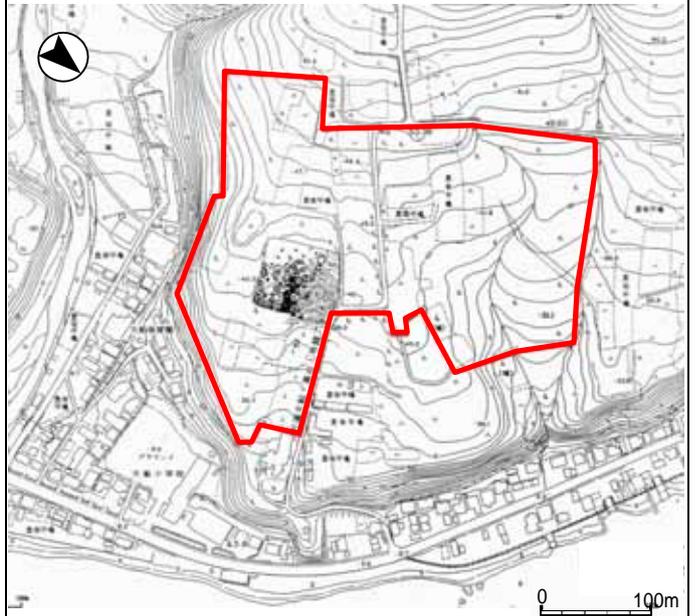
名称 おおふね
大船遺跡（史跡）

所在地 北海道函館市

位置図



遺跡全体図



写真



遺跡全景



竪穴住居跡と盛土遺構



大型竪穴住居跡

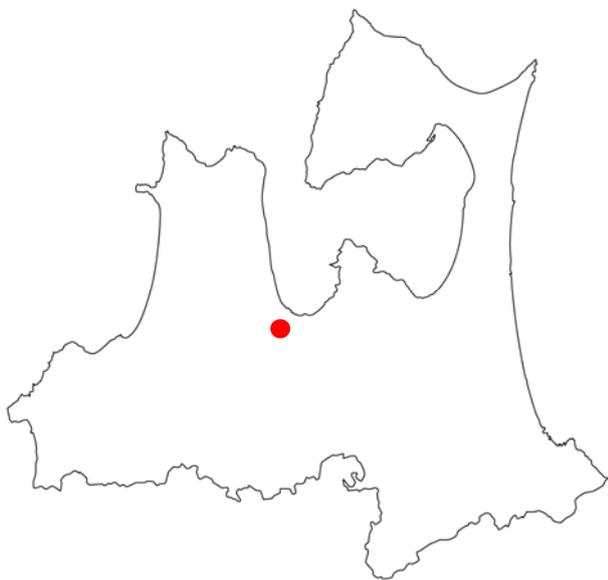


竪穴住居跡断面

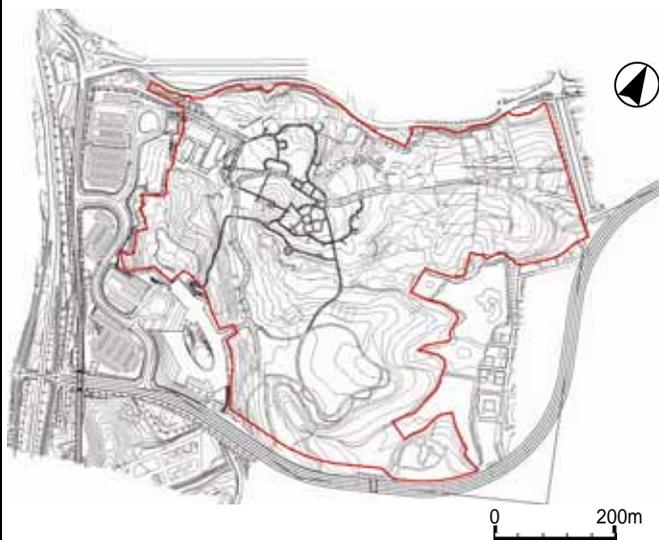
名称 さんないまるやま
三内丸山遺跡（特別史跡）

所在地 青森県青森市

位置図



遺跡全体図



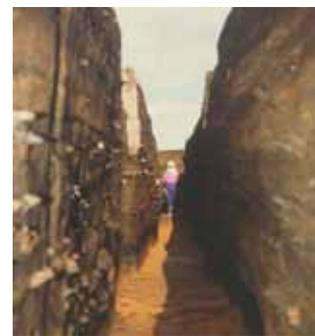
写真



大型掘立柱建物跡



環状配石墓と道路跡



盛土遺構



大型板状土偶（重要文化財）



編籠（重要文化財）

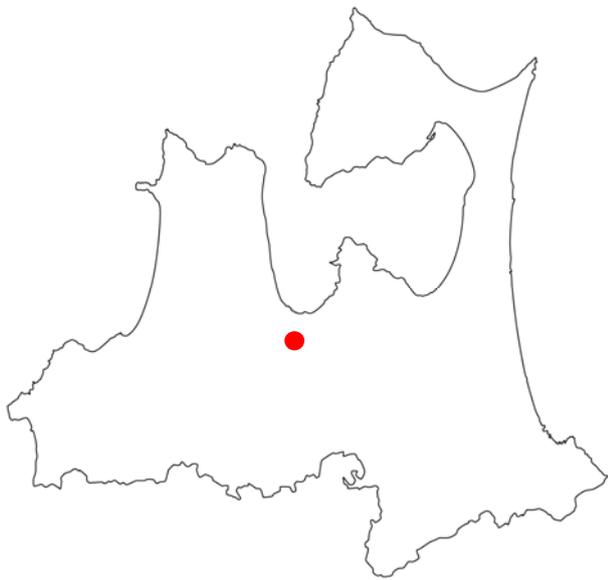


ヒスイ製大珠

名 称 こまきの小牧野遺跡（史跡）

所 在 地 青森県青森市

位 置 図



遺跡全体図



写 真



遺跡全景



環状列石



特殊組石

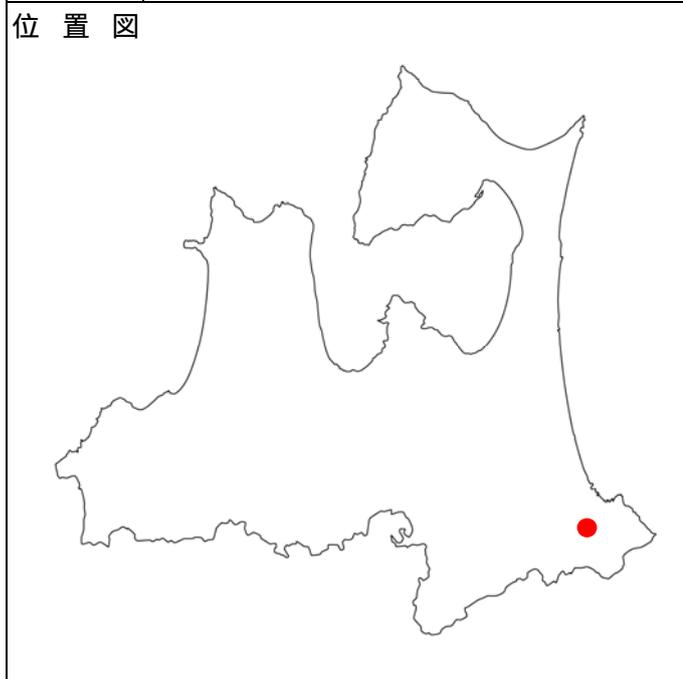


三角形岩版



切断壺形土器

名称	これかわ 是川石器時代遺跡（史跡）
所在地	青森県八戸市



写真



赤漆塗り弓出土状況



木胎漆器出土状況



漆塗り樹皮製容器出土状況



亀ヶ岡式土器（重要文化財）



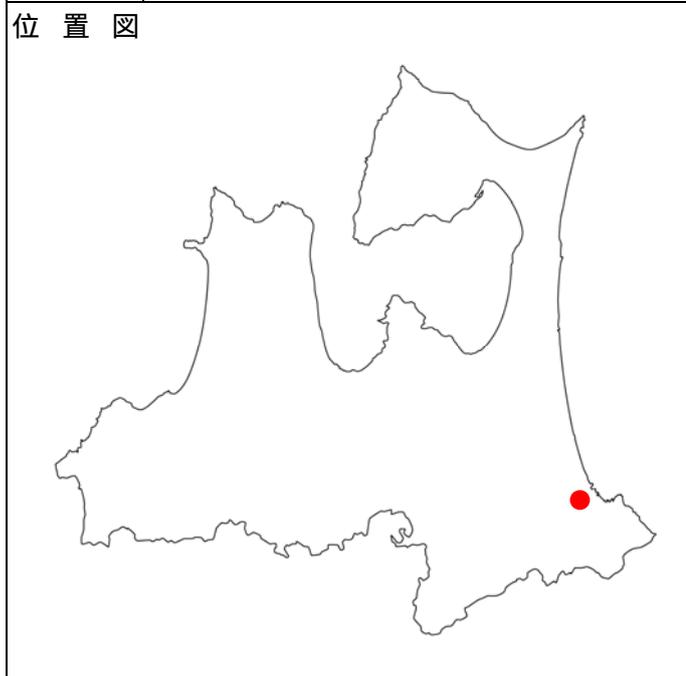
漆塗り壺



漆塗り装飾品と漉し布（重要文化財）

名 称 ちょうしちやち
長七谷地貝塚（史跡）

所 在 地 青森県八戸市



写 真



遺跡全景



貝層断面



土器



貝類

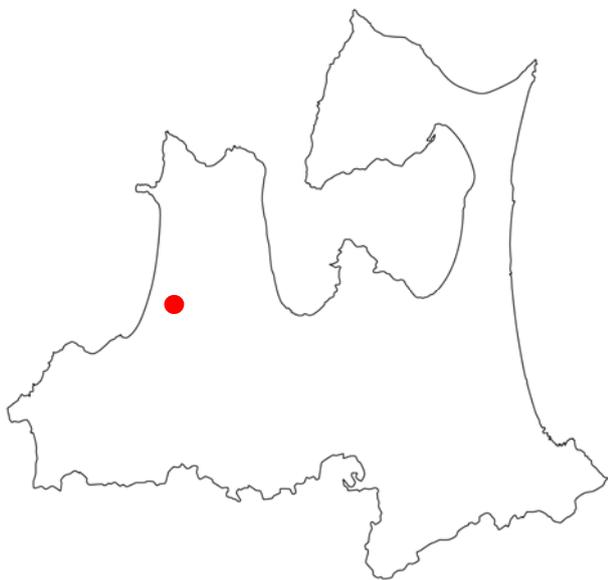


骨角器（銚先と釣針）

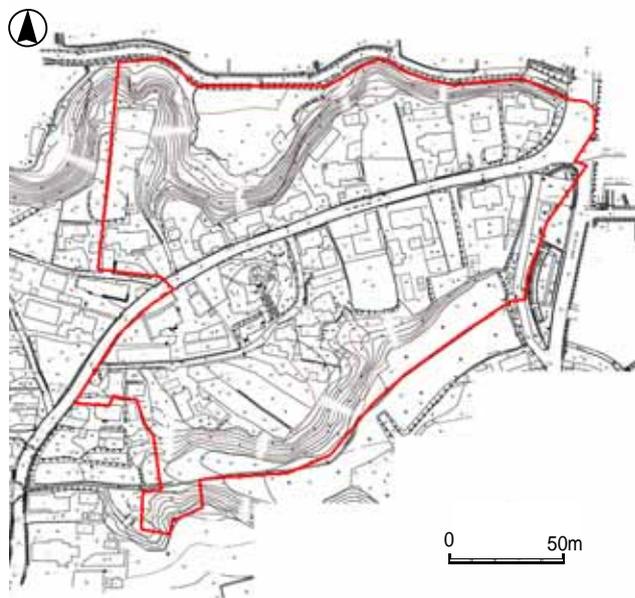
名称 かめがおか
亀ヶ岡石器時代遺跡（史跡）

所在地 青森県つがる市

位置図



遺跡全体図



写真



遺跡全景



遮光器土偶（重要文化財）



雷電宮地区土坑墓群



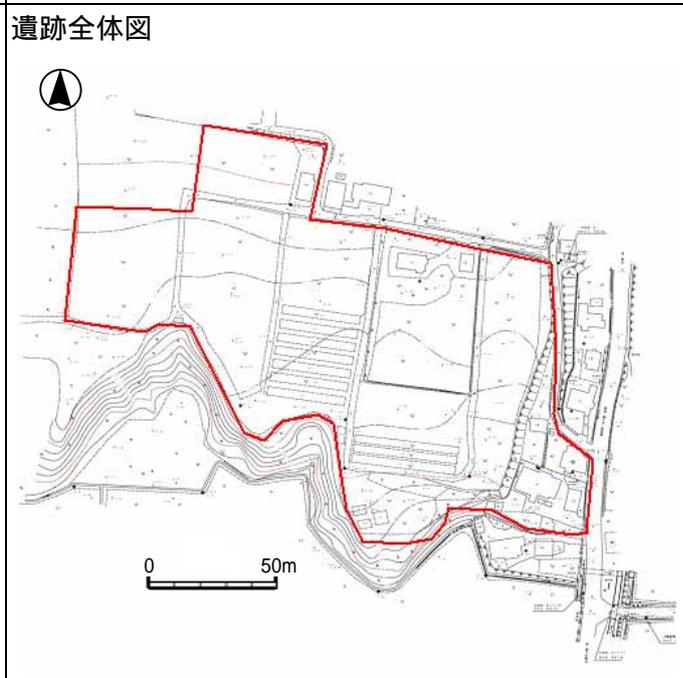
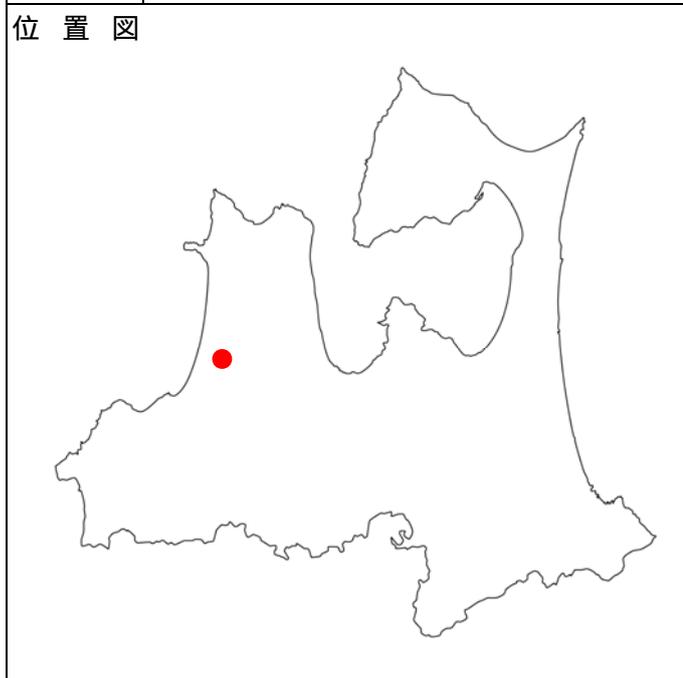
彩文鉢形土器



ヒスイ製玉類

名 称 たごやの
田小屋野貝塚(史跡)

所 在 地 青森県つがる市



写 真



遺跡全景



竪穴住居跡内の貝層



ベンケイガイ製の貝輪と石製装身具

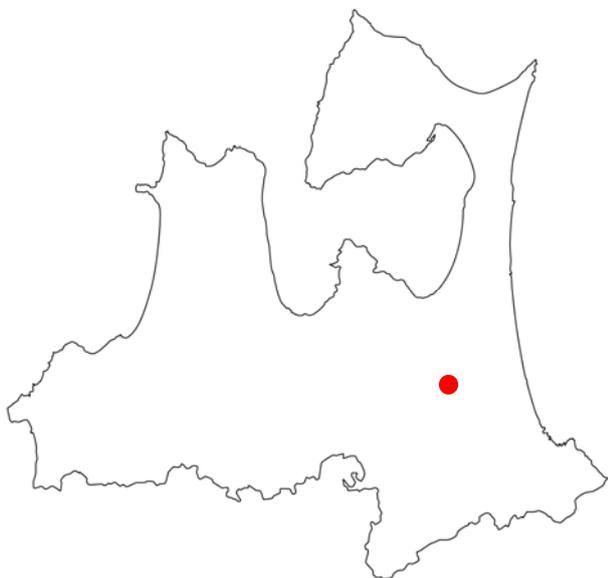


骨角器(骨刀、針)

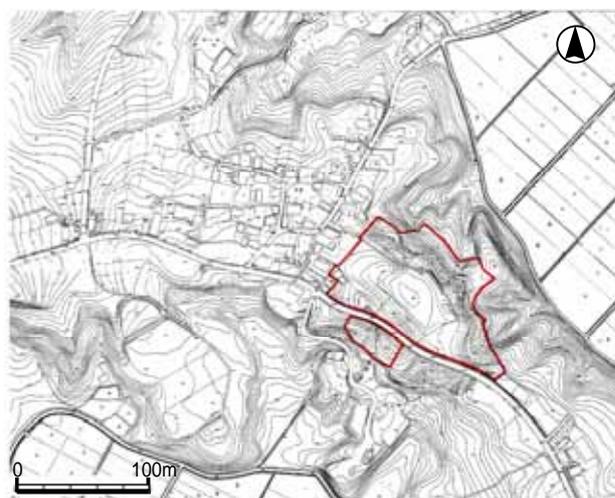
名 称 ふたつもり
ニッ森貝塚（史跡）

所 在 地 青森県上北郡七戸町

位 置 図



遺跡全体図



写 真



遺跡全景



貝層



貝層と埋葬された幼犬

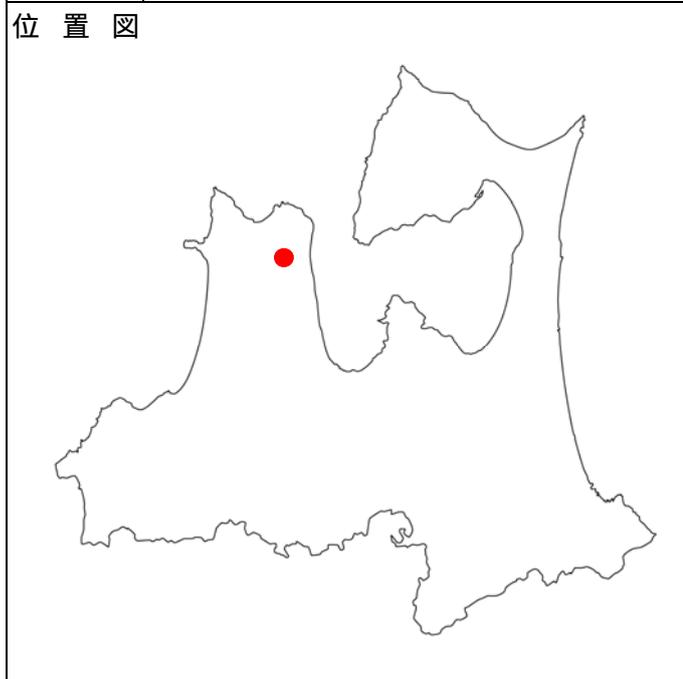


骨角器（青竜形骨器や針など・県重宝）



鹿角製の飾櫛

名称	おおだいやまといち 大平山元 遺跡（未指定）
所在地	青森県東津軽郡外ヶ浜町



写真



遺跡全景



遺物出土状況

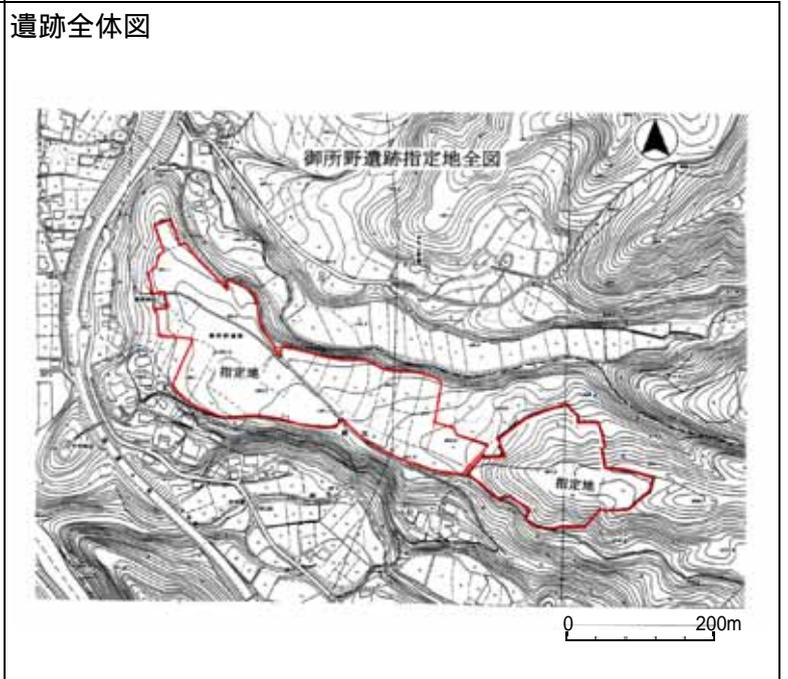
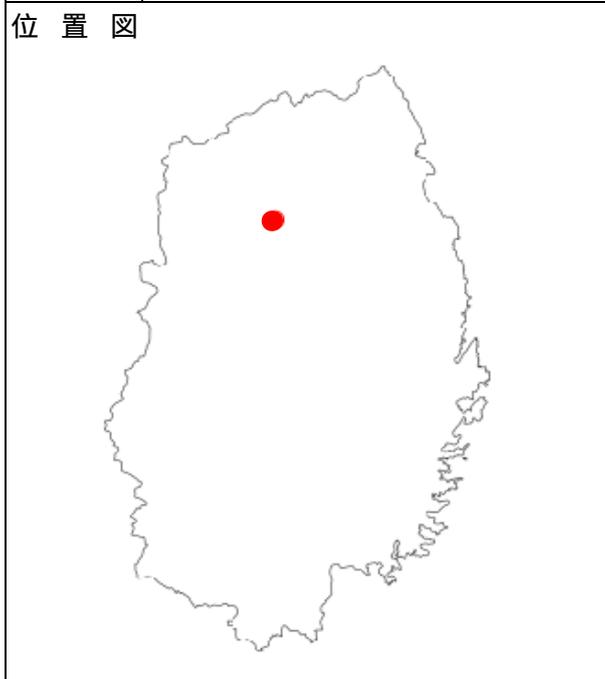


最古の土器



石鏃

名称	ごしよの御所野遺跡(史跡)
所在地	岩手県二戸郡一戸町



写真



東ムラの住居群と掘立柱建物



焼失した竪穴住居跡

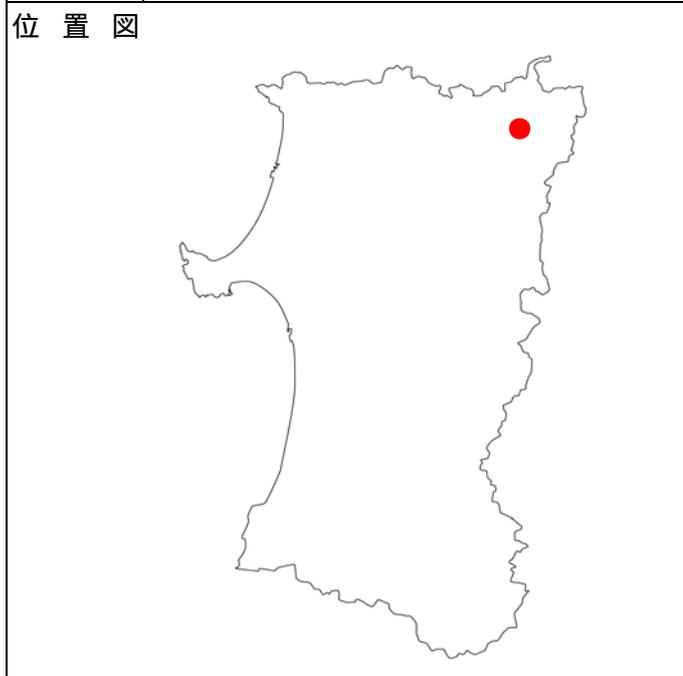


出土した東北北部の土器群



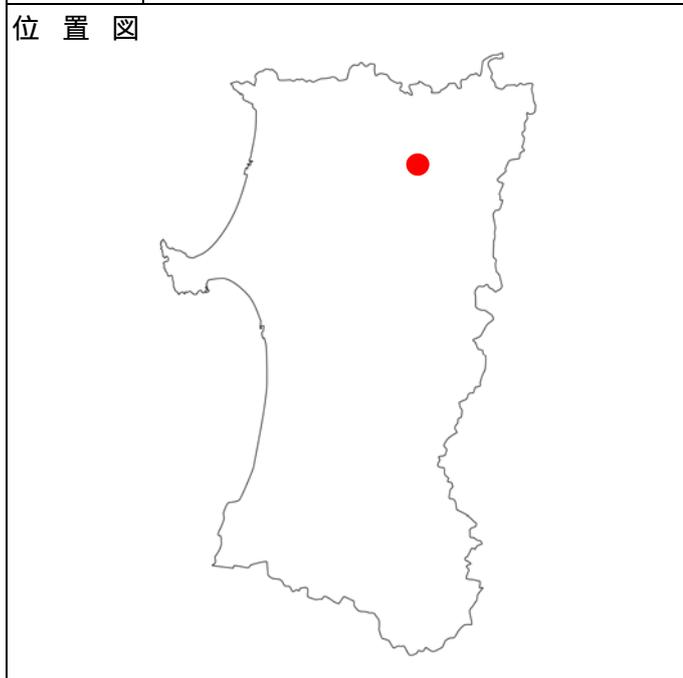
出土した東北南部の土器群

名 称	おおゆ 大湯環状列石 (特別史跡)
所 在 地	秋田県鹿角市



名称 いせどうたい伊勢堂岱遺跡（史跡）

所在地 秋田県北秋田市



写真



遺跡全景



土偶



環状列石 A 全景



キノコ形・鐸形・動物形・イモガイ形土製品